

「幸せだから笑顔」ではなく「幸せのために笑顔を！」

ある TV 番組で「インプレッショントレーナー」といって、「第一印象を改善する為に、依頼者の印象を良くする方法をアドバイスして魅力を引き出す」職業のあることを知った。

番組の中でトレーナーは、「幸せだから笑顔」ではなく「幸せのために笑顔を！」というようにことを云っていた。

確かに、生きていく日々の中で「幸せだから笑顔でいられる」時間は、本当に刹那（極、短い間）的。

だからこそ、先の幸せを得るために辛い時も笑顔が大切ということかな。

昔から「笑う門には福来たる」と云われていますね。

最近、「人は見た目が 9 割」という本がよく読まれているようだし、また、最初の出合いで目が合って挨拶を交わすのにかかる僅か 6 秒程度で、人は相手を見分けているとも云われている。

コミュニケーションが苦手な若者が増え、就職活動で面接時の印象を良くするための練習を要する今のご時世だけに、こうした本やトレーナーが必要になるということかな。

かと云って練習して得た笑顔は店先等での接遇には効果はあるかなと思うが、コミュニケーションを重ねるとその人の地が出てくるもの。

やはり、練習で得た笑顔というより、心からの笑顔を望みたいもの。

それはさておき、確かに笑顔で迎えられたり接遇されると、こちらの気分が良くなり気持ちちは和らぐのは確かで、表情変化が乏しい人とはコミュニケーションする気にもなりませんよね。

笑顔といえば、授業の感想文の中に「先生の優しい笑顔がとても好きです。」と予期せぬ一文を書いてくれた学生もいて、(@\_@)！

また、ある小学校の高学年の生徒に特別授業した感想文の中にも「阿部さんが笑顔で、楽しそうに話して下さったので、ホッとしました。」「阿部さんは、お話している時も笑顔で話をしていました。夢の実現にも笑顔が必要かなと思いました。」との一文を目にして、更に、(@\_@)！！

というのも、授業等で自分の表情がどうかなんて、全く意識したことがない。

そういえば、今年の年賀状にもある元学生が「またお会いして、先生の powerful な笑顔を拝見したいです。」と書いてあったっけ(\*^\_^\*)

生きる喜びは人と係わり合える喜びなだけに、常日頃からそう思っていると、授業等であっても、人と出合っってコミュニケーション出来るなんて生きてる喜びそのもので、表情が自然と和らぎますよね(^\_^)